

初段合格者向け 『剣道人の心構え』

初級

剣道人の心構え
 剣道は剣の理法の修練による人間形成の道である

- 1、礼儀を正しくすること
- 2、親に感謝を忘れてはならない
- 3、人の話をよく聴く
- 4、勉強が一番、剣道は二番
- 5、立派な人間になること

[表面]

- 6、正しい中段の構え
- 7、正しい握りと足さばき
- 8、大きな声を出すこと
- 9、打突のスピード
- 10、残心

神奈川剣道連盟

[裏面]

四・五段合格者向け 『審査の心構え』

中級

審査の心構え
 審査はもう始まっている。
 ひとたび始めれば、頼れるのは自分ひとり。
 過信にならない程度の自信を持って挑むこと。

- 1 着装と構え 品位、風格
- 2 初太刀の重要性
- 3 審査員が評価するのは、有効打突
- 4 捨て身
瞬間を決める勇気を持つ

[表面]

- 5 心の置き所
心を自分の真ん中に置き、
静かに動かしながら立合う
- 6 攻め
- 7 間合
- 8 正念相続
- 9 仕太刀の心境
- 10 冴え

範士 小林 英雄

[裏面]

六・七段合格者向け 『栄光の剣(つるぎ)』

上級

栄光の剣(つるぎ)
 審査はもう始まっている。
 ひとたび「始め」の声が掛かれれば、頼れるのは自分だけ。
 過信にならない程度の自信と謙虚な心で挑む。

- 1 我上位なり (着装・構え・風格・丹田・位)
- 2 平常心 (堂々とした立ち居振る舞い)
- 3 有効打突 (評価が大)
- 4 冴えのある打突 (スピード)
- 5 打ち数は少なく (無駄打ちはしない)

[表面]

- 6 攻め (相手の心を読み取るための必然的な行為)
- 7 間を知れば剣理すでに熟せり
- 8 正念相続 (気の継続)
- 9 仕太刀の心境 (所作事)

その他
 無念夢想の境地で挑む。竹刀は動かさない。
 心の置き所は自分の体の真ん中にして、
 一瞬も止めない。
 剣道はこれでいいという終着点はない。
 最後は自分が本気になるしかない。

範士 小林 英雄

[裏面]